

フィンランド語初級講座の概要

- 「Hauska tavata! : フィンランド語入門講座」に続く講座です。
- 自由に使える適切な教材が見つからないため、いくつかの資料からフィンランド語の短い文章を引用しながら学習を進めていきます。
- すでに公開している「フィンランド語文法」の講座では項目ごとに文法事項を体系立てて説明をしていますが、この講座では文章の中で出会った表現を出発点にして解説を加えていく形をとります。
- 解説は、その時点で十分だと思われる範囲にとどめます（念のため少し詳しい解説資料も用意しますが）。すでに公開している「フィンランド語文法」の動画も参考にしてください。

- ある程度の内容のある文章を読もうとすると、どうしても「複数形」が出てきます。そのため、初級講座を始める前に「フィンランド語初級講座へ向けて」という動画で「複数形」の概要のみ扱っておきます（「複数形」は中級講座で正式に学習する予定でいます）。
- ただし、この段階で「複数形」の学習をすることは重荷かもしれません。もし「フィンランド語初級講座へ向けて」の動画や資料を見て頭が痛くなりそうな場合には、「フィンランド語初級講座①」の動画から学習を始めてください。
- 「フィンランド語初級講座」では、おおよそ次に挙げる文法事項を学習していく予定です（扱い方や扱う順序などは未定です）。

①タイプ5と6の動詞

②所有接尾辞

③目的語の形

④補語の形

⑤A 不定詞（第1不定詞）

⑦様格

⑨MA 不定詞（第3不定詞）

⑪前置詞と後置詞

⑥受動現在形

⑧変格

⑩動名詞

⑫文の組み込み方

- 上記の文法事項を学習した後で、次の中級講座へ進んでいきたいと思っています（あくまでも予定です）。中級講座では、ある程度まとまりのある文章を扱えるようになると思います。
- この講座で使用する資料では、フィンランド語の文章に「学習者用の日本語訳」をつけておきます（意訳・翻訳はしません）。個人的な考えですが、言語理解と翻訳は別のものだと思います。とくに入門・初級レベルではフィンランド語の語順のまま理解していくことが重要で

あり、「日本語らしい日本語にする」ことを目標にするとかえって弊害があると感じています（一方で「日本語らしい日本語に翻訳する」ということは非常に意義のある作業です）。

●この講座で使用する文章は、おもに次の資料から引用します。

- *Vilma* [<http://virtuoosi.pkky.fi/vilma/>]

- *Tähetijengi*

[<https://www.helsinki.fi/fi/projektit/kulttuuri-katsomus-ja-kielitietoinen-perusopetus/tahtijengi>]

- *Supisuomea* [<https://yle.fi/a/20-146210>]

- *Koto-Suomi* [<https://helao.fi/oppimateriaalit-ja-projektit/koto-suomi/>]

- *Kiitäjät kotopululla*

[<https://www.eira.fi/fi/palvelut->

opiskelijoille/itseopiskelumateriaali/kiitajat-kotopolulla/]

- **Luki-Luukas** [<http://www03.edu.fi/oppimateriaalit/lukiluukas/>]
- **Lomasuomea** [<http://www.moped.fi/materiaali/lomasuomea.html>]
- **Oikeesti aikuisten 1 ~ 3**

[<https://www.marikokkonen.fi/ilmaisia-oppikirjoja-verkossa/>]

- **Syo = SUOMI – Yhteiskuntaorientaation oppikirja**

[<https://pakolaisapu.fi/2020/11/24/suomenkielinen-yhteiskuntaorientaation-oppikirja-on-uudistettu/>]

(このページの下の方にある次の文の中の、“täällä” を押すとダウンロードできるページへ移動します)

”Yhteiskuntaorientaatio-oppikirja on ladattavissa [täällä.](#)”